

# 23 地域の安全・安心に貢献する「八幡」（上平丸）地すべり防止事業

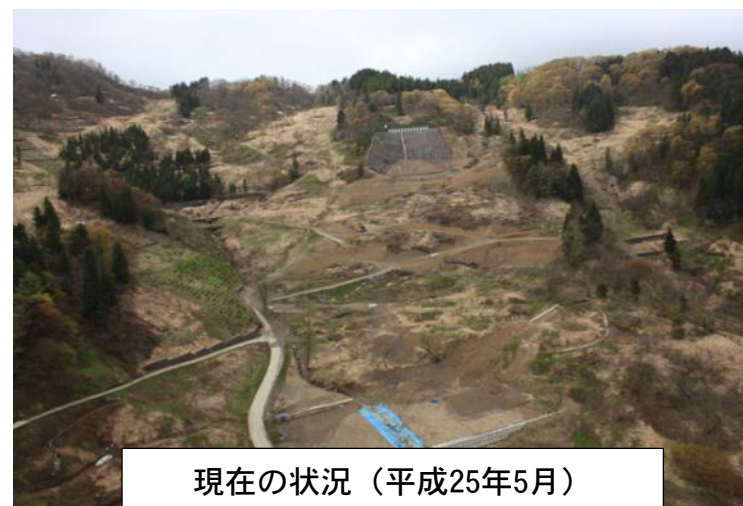
新潟県（妙高市）



荒廃状況（昭和45年4月）

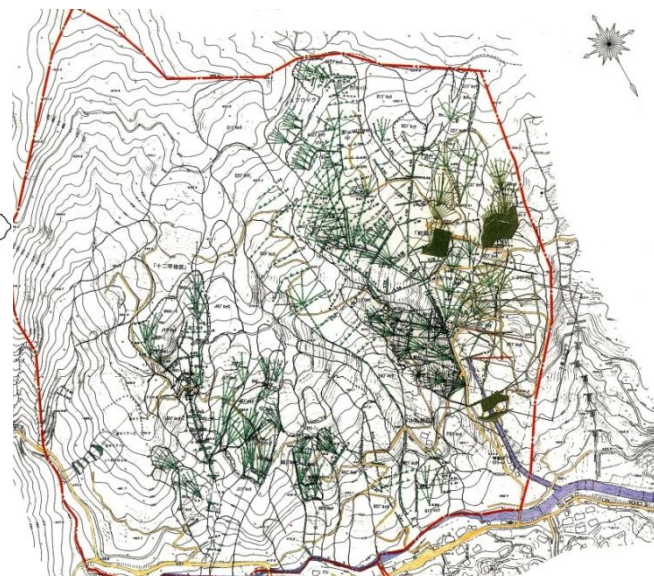
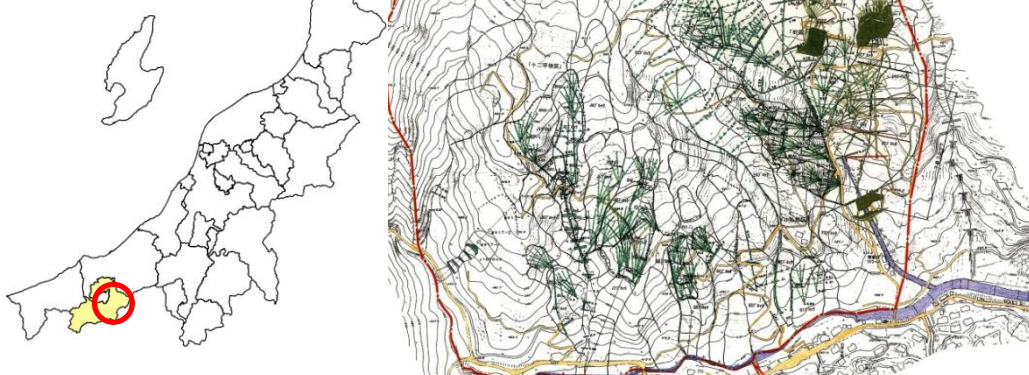


施工状況（平成24年10月）



現在の状況（平成25年5月）

位置図



事業実施概要図

## ○所在場所

新潟県妙高市大字上平丸字八幡 ほか

## ○施設・工法の概要

谷止工等 18基、集水井工 19基、杭打工 1,800本、アンカー工 28本

## ○解説

当地域は県下でも有数の地すべり地として知られ、かつては融雪期に地すべりが多発してきました。特に麿香沢上流斜面では大規模な地すべりが古くから反復し、たびたび1級河川平丸川に大量の土砂が流出していました。

これに対し、昭和47年より全国に先駆けて本格的な杭打工の施工を行い、その総計は1千本を超えるものとなりました。これらの施工により得られた知見や成果は、地すべりと鋼管杭の挙動の解明に大きく寄与しています。

また、平成22年に発生した大規模な地すべりでは、谷止工が平丸川本流への土砂流出を防止するなど効果を発揮しました。